

## 船岡に保存されているオハ761の塗装作業について

交流機関車保存会では、これまで船岡駅前に保存されているED71 37号機とオハ761 2527の塗装をはじめとした作業を行ってきました。

そしてこのたび、この2両のうちオハ761 2527について、平成30年5月に塗装作業を行うこととなりました。

しかし近年、当会において会員数の減少や残っている会員においても本業の多忙化や家庭の事情等により、年を追う毎に保存活動に参加できる人数が限られてきているのが現状です。

このため、下記のとおり今回広く塗装作業に参加できる方を募集することにしました。

### 記

- 1 塗装実施日時 平成30年5月12日(土)及び13日(日) 10時～15時  
(雨天予備日として平成30年5月19日(土)及び20日(日))
- 2 集 合 場 所 柴田町 船岡駅前緑地(駅から徒歩2分)
- 3 そ の 他 詳しくは次頁の作業要領をご覧ください。  
皆様のご参加をお待ちしております。見学だけでも大歓迎です。

以下、既に御存知かとは思いますが改めてこれら保存車両の簡単な紹介です。

#### ED71とは

東北本線黒磯～仙台間の電化の際に製造された電気機関車で、1959年に1号機～3号機が先行試作。各種試験等の結果、1号機(現在利府の新幹線総合車両センターに保存)をベースに量産化され、計55両が製造される。船岡に保存されている37号機は1次型に属し、通称「田の字」と言われる側面のエアフィルターが特徴。また後年の改造により前照灯がシールドビーム2灯に改造されている。昭和35年日立製作所製造。昭和59年廃車。



写真は昭和57年2月 陸前山王にて

#### オハ761とは

戦前製の木造客車について、保安度向上や輸送力向上などを目的に「鋼体化改造」を行った半鋼製客車で、オハ61と対をなす車掌室付きの車両。普通列車に使用する前提で製造され、同年代に製造されている急行用のスハ742に比べ、定員が2ボックス分8人多くその分シートピッチが狭い。椅子は多くの車両が板張りのまま。日よけはヨロイ戸式。2527番は晩年は郡山客貨車区に所属し、主に磐越東線・磐越西線及び日中線で活躍し昭和58年に廃車。同型車は旧型客車の晩年である昭和60年まで東北地方や四国で活躍していた。



写真は昭和60年1月 関根にて  
(同型車のオハ761 2528)

## 作 業 要 領

- ・ 主な作業内容は、ローラーを用いた茶色2号の塗装になります。昨年までに下地処理までは概ね終わっておりますので、表面処理など細かな調整をした後、塗装を行います。ご参加いただける方には怪我防止のため、低い場所での作業をお手伝いいたします。
- ・ 塗料や作業足場は既に準備済、ローラーも準備しておりますが、数が不足することもあります。もしよろしければ百円ショップで販売しているようなローラーで充分ですので、ご持参していただけると助かります。
- ・ 塗装作業という性格上、服装については汚れてもよい服装でご参加願います。他にもマスクやタオル、飲み物等をご用意願います。
- ・ 作業日時は前頁のとおりですが、いずれも1日目は表面処理（サンドペーパーがけ）、2日目が塗装作業の予定です。ただし、天候状況等により、変更する場合があります。
- ・ なお5月13日に降雨が明らかに予測される場合は、その2日間とも作業を中止し次週の予備日に延期、予備日も作業不可の場合は秋以降に再延期します。作業の中止等のお知らせは交流機関車保存会の公式Twitter @acelhozonkai にて告知します。
- ・ ご不明な点等ございましたら、下記担当までご連絡願います。

お問い合わせ先  
交流機関車保存会  
acelhozonkai@gmail.com

担当： 工藤 洋一 090-4313-4748  
今野 理昭 090-2361-6927  
青木 工 070-5626-1869